

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	株式会社千広				
事業所の名称 (施設名)	ここぷらす 坂之上・ふあみさぽここ 坂之上				
事業所番号	4650101946				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input checked="" type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市坂之上4丁目26-10				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 28 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓2にURLを記載
	2. 内容	http://famisapo-coco.com
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	山下ゆかり
連絡先 (TEL)	090-5933-7604

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここぷらす坂之上		
○保護者評価実施期間	R8年2月10日		～ R8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	R8年2月10日		～ R8年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわくタイム等、子ども達がわくわくした気持ちで楽しみながら、成長を促すことができるような活動を提供している。 ・ご利用中の気付きを保護者へ共有している。健康面や怪我、その他気付きも必要に応じてお電話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達検査や知能検査等のアセスメントツールを用いて、より専門的な視点から根拠に基づいた療育が提供できるよう、研修受講等を行う。
2	保護者への説明等	<ul style="list-style-type: none"> ・理念のもと、共感的に関わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共感的に関わるだけでなく、そのなかでも助言を行うことができるよう支援力の向上や、コミュニケーションスキルの向上のための社内研修を行う。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への説明等 →マニュアル、訓練実施、保護者同士の交流等	マニュアルはあるが、周知が十分ではなかった。	保護者が確認する、連絡ツールのアプリに掲載する(社内にて検討)
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ここぶらす 坂之上		公表日		R8 年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		活動内容に応じた空間の使い分けや時間帯の調整を行っています。また、小集団での活動を基本とし、必要に応じて活動グループの分散や屋外活動の活用を行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		配置基準を遵守するとともに、利用人数や活動内容に応じた適切な人員配置を行っています。加配の取れる配置です。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		生活空間の構造化については、活動ごとのエリア分けや視覚的支援（掲示物・写真・イラスト等）を活用しています。また、障害特性に応じた配慮についても、設備や掲示方法を定期的に点検・見直しを行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		生活空間の清潔保持については、日々の清掃および定期的な点検を徹底しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		パーティションで区切る、相談室を利用する等、必要に応じて環境を変えることができるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		月に2回の会議時や毎日のミーティングにて、業務改善が図れるよう意見交換を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		6と同じ		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	社内監査を実施しています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		毎月の研修を始め、キャリア別の研修があります。外部研修にも参加できる環境です。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページにて公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		スタッフで共通理解を図り、計画作成を行っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当を決め、担当者を中心に活動を立案し、チームで内容を検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎週土曜日を中心に「わくわくタイム」で様々な体験活動を実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、朝礼を行い支援について共通認識を持ち対応しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼ができる際には、終礼にて。終礼が出来ない場合には申し送りノートを活用しながら情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		関係機関連携を行い、相互理解を図っています。	訪問支援で入っていない園との、情報共有の機会は限られているため、状況に合わせて頻度を決め、情報共有が定期的に行なえるよう努めます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援シートを用いて、安心して進学できるようサポートしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		今後、情報収集を行いながら、助言を頂く機会を設けていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		保護者ニーズがないため、未実施。並行通園のご利用者が多い状況です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		就学に向けての研修会を実施しました。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時には丁寧に説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		研修会や親子合同の活動を提供しているが参加者が多くない状況がある。	参加しやすい活動や日時・場所等を設定し、ニーズに合わせて保護者交流ができるよう努める。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に1回はおたよりを配布している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		あそびの広場や体験会等を実施している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアル策定は行っているものの、周知には不十分さがあります。	マニュアルの周知方法について、HUGやホームページへの掲載等も検討する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬やてんかんについては情報共有を行う事ができています。	緊急時を想定し、予防接種の状況についても確認していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	現在対象児がいない状況です。	対象児がいる場合には、医師との連携を図りながら支援に当たります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全計画の取り組み状況について、周知方法を検討する。4月より新年度分の周知ができるよう準備します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回以上研修を受講しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ここぶらす 坂之上

公表日 R8年 2月 28日

利用児童数 38

回収数 27

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	3	1		人数に対して狭いと感じることがある。	活動内容に応じた空間の使い分けや時間帯の調整を行っています。また、小集団での活動を基本とし、必要に応じて活動グループの分散や屋外活動の活用を行います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1		2		配置基準を遵守するとともに、利用人数や活動内容に応じた適切な人員配置を行います。また、職員間での連携強化や役割分担の明確化を図り、支援の質が安定するよう努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	3		2		生活空間の構造化については、活動ごとのエリア分けや視覚的支援（掲示物・写真・イラスト等）を活用し、子どもが見通しを持って行動できる環境づくりをさらに強化してまいります。また、障害特性に応じた配慮についても、設備や掲示方法を定期的に点検・見直しを行い、必要に応じて改善を図ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1				生活空間の清潔保持については、日々の清掃および定期的な点検を徹底しています。また、子どもたちの活動内容や発達段階に応じて空間の使い分けやレイアウトの見直しを行い、より活動しやすい環境設定を行います。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26			1		児童発達支援計画については、ガイドラインに基づき作成しておりますが、内容が分かりにくいところのご意見を踏まえ、面談時に支援項目や具体的な支援内容をより丁寧に説明していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	2			作成された支援計画に対して、実際に参加する活動は親が決めているので、支援計画に沿った活動を親が選んでいるのか自信がない。この活動を積極的に入れていった方が良くとかがあれば教えて欲しい。	支援計画のねらいと各活動の目的を分かりやすくお伝えし、重点的に取り組むとよい活動を具体的に提案します。定期的に振り返りを行い、計画に沿った支援となっているか一緒に確認していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1		1	季節に沿った活動や小学校に向けての活動等、色々やっていただいております。	活動内容や順番を定期的に見直し、児童の発達や興味に応じて柔軟に調整できるよう工夫しています。また、保護者やスタッフの意見も取り入れながら、多様な活動が取り入れられるようにします。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	5	1	8		並行通園のご利用者が多いため、特にニーズがない状況です。ニーズの把握を行い、必要に応じて活動の機会を設けます。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26			1		入所時や定期的に、運営規程や支援内容、利用者負担について分かりやすく説明する機会を設けていきます。書面や口頭で丁寧に説明し、保護者が安心して利用できるようにします。	

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19		2	6	ペアレントトレーニングは行っておりません。面談の機会や研修会を実施し、情報提供を行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26		1		定期面談や研修の機会を計画的に設け、保護者が相談しやすい体制を整えています。
	17	事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	25	2			職員が児童や保護者の気持ちに寄り添った対応ができるよう、日々の関わり方を振り返り、必要に応じて研修や相談の機会を設けます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	5	2	7	保護者同伴の活動を年1回以上実施しています。今後も計画的に実施できるよう検討します。活動内容や参加方法を保護者に分かりやすく案内し、希望に応じて参加できる体制を整えます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	2			相談があった際には迅速かつ適切に対応できる体制を整え、必要に応じてフォローアップも行っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1			日々の連絡や情報共有の方法を見直し、保護者やこどもが理解しやすい形で伝えられるよう工夫します。必要に応じて、口頭・書面・デジタルなど複数の手段を組み合わせ、意思疎通が円滑になるよう努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24			3	情報発信の方法や頻度を整理し、定期的に活動内容や行事予定、連絡体制、自己評価結果などを分かりやすく保護者に届ける仕組みを実施しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26			1	個人情報の管理方法や取り扱いルールを周知徹底しています。保護者に対しても、どのように情報を保護しているか分かりやすく説明できるようにします。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1		6	各マニュアルの内容や訓練の実施状況を整理し、保護者に分かりやすく周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	2		6	避難訓練の実施状況を整理し、定期的に計画的に行う体制を整えています。保護者に訓練内容や目的を記録で分かりやすく伝え、万一の際に安心して対応できるよう周知します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26			1	安全確保の計画や対策をしています。また、保護者に分かりやすく周知します。支援を行う際には安全が最優先されていることを明示し、必要に応じて状況の説明や報告を行います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1			事故発生時の連絡方法や報告手順に沿って、保護者に分かりやすく周知します。事故が発生した場合には迅速に連絡・状況説明を行い、再発防止策も併せて共有できる体制を整えます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	1			こども一人ひとりの安心感を重視し、環境や関わり方を工夫しています。日々の観察や面談を通じて不安や戸惑いがないか確認し、安心して通所できる雰囲気づくりに努めます。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	2	1	とても楽しみにしています！	活動内容や関わり方をミーティングを実施しながら見直しています。また、日々の様子を観察し、楽しさや達成感を感じられる活動を取り入れ、通所を楽しみにできる環境づくりに努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	1		いつも丁寧な支援ありがとうございます。 職員のみなさまの対応がきちんとされているため、安心します。 連絡等もとても丁寧で、安心して子供を通わせられる事業所だと思っています。 今後ともよろしくお願いします。	保護者やこどもの意見を丁寧に聴き、支援内容や方法を見直す機会を設けます。 必要に応じて説明や相談の場を増やし、より納得して利用できる支援の提供に努めます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふあみさぽここ 坂之上		
○保護者評価実施期間	R8年1月10日		~ R8年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	R8年2月1日		~ R8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	共感的な支援	できていることに目を向け、褒める・認めることを大切にしている。	個々のスキルアップ(ご利用者の状況の把握。実態に合わせた適切な支援の提供)ができるよう、研修の設定や、フィードバックの機会を設ける
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場、きょうだい支援	2月に開催したが、ご利用者が少ない状況だった。	参加しやすい日時や活動、場所の設定の工夫。単発ではなく、継続的な支援の実施。
2	非常災害時・保護者への説明等	避難訓練や緊急時の対応についての周知が十分でない状況。	契約時に、丁寧に説明をおこなっていく。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ふあみさぼこ 坂之上		公表日		R8年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		加配の取れる体制を整えています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		段差はほとんどなく、バリアフリーな造りです。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃や消毒を行っています。活動内容に合わせて部屋を区切って使用しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼や終礼、事業所内会議の時間を設けて業務改善を図っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		6と同じ		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	社内監査を年1回行っています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		キャリア別研修、入職時研修、月1回の職員会議時の研修があります。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		以前は曜日ごとに活動が決まっていたが、全員に5領域の活動が提供できるよう、1週間ごとに活動を決め、提供するようにしました。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日、終礼を行い、情報の共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々記録を取っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が中心に、参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援事業所を中心に、学校や他事業所などと連携した支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		園や児童発達支援事業所からの移行支援シートを頂いています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	概ね小学校3年生までを対象としているため、障害福祉サービスへの移行はありません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修が開催される場合には参加をしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		外出時には、地域の子供達との関わりの機会もあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	情報の確認は行っています。	スケジュールが合わず現在参加できていない状況のため、今後参加させていただきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ペアレントトレーニングの実施は、保護者のご要望を確認しながら実施の検討を行います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		家族で参加が可能な活動を実施しました。	参加者が少ない傾向にあるため、活動やに自治・場所を工夫し、たくさんの方にご参加頂けるよう努めます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアル策定や訓練実施をしております。	マニュアルはありますが、周知が不十分です。周知方法を検討して参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	てんかんや服薬の状況、健康面の配慮について確認しています。	予防接種の状況についての確認はできておりません。緊急を要する病院受診時に備え、契約時に確認ができるよう努めます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画に沿って、対応ができていない月がありました。実施に漏れがないよう安全計画の内容や研修等の方法を再度検討していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回以上、権利擁護や虐待防止・身体拘束廃止に関する研修があります。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ふぁみさぼこ 坂之上
------	------------

公表日 R8年2月27日

利用児童数 R8年2月27日 31名

回収数 21名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	2				基準より多い配置となっております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2		2		室内は概ね段差のないバリアフリーな空間です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1		2		動の部屋、静の部屋を分け活動しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1		2	活動をみていないので	活動見学や親子療育をとおして、活動を体験したり見て頂く場面設定を検討します。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	3		3		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1		4		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	1				ガイドラインに沿って、計画作成を行っています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18			3		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2		1		外出時には地域の子ども達との関わる機会があります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	1	9		契約時に契約書別紙を用いてご利用料金の説明を行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1		1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	2				ペアレントトレーニングは行っておりませんが、面談の機会をとおして、情報提供を行っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	3		6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2		1		半年に1回の面談とあわせて、保護者からのご要望に応じて面談を実施しています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1				保護者交流、きょうだい児交流のできる活動を2月に実施いたしました。今度もご要望にあわせて、保護者交流の機会やきょうだいへの支援も実施して参ります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	1	11			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1		3	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1		1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	3		5	年2回避難訓練を実施しています。訓練の記録は当日のご利用者へのみ周知となっていたため、共有できるよう検討して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			8	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			2	怪我や事故発生時にはその日のうちに、状況や対応について報告をさせて頂いております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	2			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1		自宅への送迎後の振り返りの話しがある先生とない先生がいるので今日の出来事を教えて欲しい時があります。	貴重なご意見ありがとうございます。自宅への送迎時にその日の出来事について、お伝えすることができるよう共有して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここぷらす坂之上（保育所等保問支援）		
○保護者評価実施期間	R8年2月10日		～ R8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	R8年2月10日		～ R8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	R8年2月10日		～ R8年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	共感的な支援	・保護者やご利用者、訪問時には先生方の普段の保育や教育の想いを大切に、否定をしない共感的な関わりを意識している。	・よりよい助言や提案ができるようスキル向上のための事例検討や研修会の実施を行う。
2			
3			

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境体制整備（訪問回数）	現在、訪問支援員が児童発達支援と兼務となっている兼ね合いから、訪問に出ることができる枠が限られてしまっている状況。	・訪問支援員増員または専従による訪問回数の確保。
2	保護者への説明等・適切な支援の提供（訪問先との連携）	計画作成時、訪問先の意向確認は行っていたものの、計画の反映は薄い状況。	訪問先とのケース会議を実施し、今の課題や、取り組みなども確認しつつ計画を作成し、支援を組み立てていく。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ここぶらす坂之上（保育所等訪問支援）		公表日 令和8年2月28日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		ご利用者の状況に合わせて教材の作成・持参を行っている。	教材の数が不足したり、支援をするなかで必要なものも出てくる状況のため都度作成や購入を行い準備していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		中心で動く支援員を決めつつ、児童職員全員が訪問支援員として登録を行っている。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		主に訪問後に振り返りも兼ねて次の支援へ繋がるよう対応できている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に1回、保護者向けの評価表へご回答頂き改善を図っている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		上長との面談を通じて業務改善へ繋がるよう社内全体で対応できている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修への参加を積極的に行っている。	保育所等訪問支援に関する研修頻度が少ない為、質の向上を目的に外部研修も探しながら対応していく予定。
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		ご契約時や個別支援計画書の更新時期のタイミングでアセスメントを丁寧に行っている。	アセスメントシートを改良し、園や学校での環境・状態の把握ができるようなものを作っていく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		ケース検討会議を通して計画書へ反映できるよう、努めている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>		ご利用者の状況に合わせて訪問先の園や学校と連携を図っている。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		口頭および閲覧をした上で共通認識が図れるよう、努めている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		弊社指定のアセスメントシートを活用し、可視化を行っている。	R8年1月の運営指導にて、アセスメントシートの書式について、ご助言を頂けたため訪問先での様子等も記入できる書式を今年度中に作成していく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインの内容共有を職員と定期的に行っている。ガイドラインに沿った支援ができるよう心掛けている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者が中心となり、口頭および書面での共有を行い、内容把握に努めている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		朝礼や会議などを通じて事前打ち合わせを行い、準備不足などが無い様、努めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		終礼を行うことで、振り返りや課題の共有を行うようにしている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		園や学校の規則に沿って対応を行うことへ心掛けている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	<input type="radio"/>		アプリを通じて記録へ反映し、振り返りが行いやすいように対応している。	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年毎にモニタリングを行い、再度アセスメントを行った上で計画書へ反映をしている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達支援管理責任者が中心となり、参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		ご利用者の状況に合わせて連携を図っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部研修への参加を積極的に行っており支援へ活かすことができるよう学んでいる。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		面談や担当者会議の際には、ご利用者本人にも参加有無を確認しながら一緒に目標決めができるよう努めている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		対象児童全ての学校・園の担任の先生を中心とし、チラシ等を活用しながら説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		面談時や送迎時などを通じて、なるべく対面で説明および同意を頂けるよう、努めている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		相談毎へ迅速に対応し、一緒に手立てが考えられるよう家族支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		訪問単体での研修は実施できていない状況。今後、研修や保護者会も検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応することを心掛け、常日頃丁寧に対応を行っている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		アプリを通じて、必要に応じて情報発信を行っている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		2名体制で確認を行いながら情報漏洩とならないよう、管理の徹底を行っている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご利用者の特性に応じて情報共有をこまめに行うことや常日頃、配慮ができる体制を整えている。	
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		迅速に対応し、助言等を行うことで関係構築へ繋がるよう努めている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			なるべくその日のうちに振り返りができるよう努めているが、後日の対応になってしまうこともある。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		その日の内に記録更新、または必要に応じて、お電話などで共有を図っている。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		相談を受けた際には、記録へ残し次の支援へ繋げられるよう手立てを考えながら対応している。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訓練後は実施記録を作成の上、保管を行っている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年に1回作成および計画の内容見直しを行っている。	保護者への周知も行っていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		必要に応じて朝礼や終礼時に共有している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に2回以上研修および定期的に委員会の開催を行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 ここぶらす 坂之上

公表日 R8 年 2 月 28 日

利用児童数 32

回収数 23

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	12	2		9		訪問の際、必要な教具や視覚支援等を準備し、支援に当たっています。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	20	1		2		個室の相談室があります。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	21	2				契約時にご説明させて頂いております。明確に伝えることができるよう、丁寧に説明していきます。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	20	1	1	1		ご希望に添えない訪問回数となった方もいらっしゃる、申し訳ありませんでしたが、できるだけご要望に沿うことができるよう、丁寧に訪問支援の必要性等をお伝えしていきます。
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	20	1		2		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	2		3	手厚くみていただいて助かっています	概ね1対1での直接支援もできる状況のため、必要に応じた介入を行っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	2				
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	18	2		3		保護者の意向が中心となっている面もあるため、訪問先の意向確認も今後さらに行って参ります。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	2		3		ガイドラインをもとに計画を立てています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	2		1		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	19	2		2		訪問先と事前の打ち合わせで、介入方法を検討しながら、訪問に入らせて頂きました。活動の妨げとならないよう留意しています。
保護者への	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21			2		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21			2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	14	3		6		訪問のご利用者のみを対象とした研修会等は実施ができていない状況でした。今後検討して参ります。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	21	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	1	3		お電話やメッセージでのやり取りが多く、面談の機会を設けることができていない方もいらっしゃるため、定期的な面談を行うことができるよう保護者への早めのお声掛けを行って参ります。
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2					

説明等	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	3		1		
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	2				
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	20	2		1		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	17	1		5		訪問時には、訪問先の先生方とお話の時間を取ることができるよう努めています。授業や活動によっては十分に話し合う時間が持てないことがあります。後日のお電話や面談の機会を設け、情報共有や話し合いを行っていきます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	21	2				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	2		3		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			1		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	17			6		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	2		3		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	19	1	1	2	もっと来て欲しいと言っていました	訪問回数の上限が月に2回までとなっていることや、園や学校のご都合と訪問支援員の予定が合わないことで数か月置きの訪問となってしまった方もいらっしゃいます。申し訳ございませんでした。訪問支援員のスケジュール管理がしやすい体制（増員等）を検討し、希望の回数、訪問することができるよう調整して参ります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	20	2	1		来て下さるのはとてもありがたく、子どもたちも楽しみにしていましたが、訪問の頻度が少なく評価が難しかったです。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

R8 年 2 月 28 日

ここぷらす坂之上

利用児童数

32

回収数

17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、 具体的でわかりやすく、取り入れ やすいものですか。	13	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ Aさんやその他の他害をしてしまう子に対する関わり方について、詳しく助言をいただくことができたから。 ・ 授業後の思いや感想を共有できているから。 ・ 課題や支援内容がはっきりしていた。 ・ 早めにご相談いただけるので見通しを持ちやすい ・ すぐに取り入れやすい支援方法を教えてくれるから ・ 本人が落ち着いて学習に取り組んでいるため ・ 訪問後に面談ができなかった際にも、子どもの様子やそれに対する支援を訪問ごとに細かく丁寧に文面にまとめてくださった。 ・ 毎回、その時間の様子を、どこで、その児童が立ち止まっているのか困り感があるのか、こうした場面では、こういう反応をしていたなど細かく記入された物をいただき、こちらもよく分かったから。 ・ 子ども達一人一人に適した助言であったり相談内容なので、園でも取り入れやすいです。 ・ 子どもへの個別の対応がわかった。 ・ 丁寧に関わられておられ、分かり易いからです。 ・ お話する時間等が少ないため。 ・ 送って来ていただいた時に療育での様子を聞くだけで、助言や相談を受ける機会がないから。 ・ 話は適切でわかりやすいですが既に園でも取り組んでいることがほとんどで助言まではなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 充分にお話をする時間が持てないこともあり、申し訳ありませんでした。事前の打合せにて、現在園や学校での手立ての確認等も行っており、新たな手立ての提案ができるよう努めて参ります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・ 技術等に満足していますか。	13	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象の子に対する関わり方の手立てを多く持たれていたから。 ・ 対象の児童だけでなく、他の児童の状況に応じた意見や自作資料を提供していただいているから。 ・ 実態を的確に把握され、つけたい力も明確だった。 ・ 支援する児童のことを理解した上で関わってくださるので。 ・ 実際に取り入れた支援が身につくスムーズに活動が進むようになったから ・ 困っている時に教えてくださっている様子なので ・ 子供の特性を理解している ・ 本児の特性に合わせた支援方法を細かく教えてくださり、絵カードの準備なども提示してくださった ・ 児童が、その時間に取り組む事に上手に関わりながら寄り添っていたから。 ・ 援助や支援の仕方など、専門的な立場から伝えてもらえているのでわかりやすいです ・ 個別の対応の仕方について意見交換ができた。 ・ 子どもにとって、十分な支援ができ、意欲的に活動しようとする様子が見られたため。 ・ 後日報告書が届くだけで、その子にどのような対応が良いのか、その時の保育者の対応は適切だったのかなど、直接話をする時間を設けることができないから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問後に報告書のお渡しをさせて頂いておりましたが、お渡しのタイミングでお話が難しい場合にはお電話をさせて頂く等、直接説明ができるよう工夫して参ります。

3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	12	5	<ul style="list-style-type: none"> ・授業後に、思いや意見等をいただいているから。迎えの際に目を見て挨拶をしてくださり、話しやすい雰囲気もある。 ・園側に身寄り添って話を聞いてくれるから ・クラス全体の落ち着かなさに対して質問をしたところ、全体に対する支援方法まで細かくまとめて教えてくださった 子供たちが視覚的に捉えやすいカードなどを準備されてきてくださった。 ・子どもの困り感の意見交換ができた。 ・質問する機会があまりなかったから。 ・クラスを運営しながら、支援していただいたあとにその子について話をする時間をとれていないから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な返答ができない場面もあるため、持ち帰りチームで検討後、お電話で共有する等、対応して参ります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8	7	2 <ul style="list-style-type: none"> ・取組について、後押しして下さるような話の聞き方で、ありがたいです。 ・支援を受ける児童が安心して取り組んでいるので。 ・教えてもらった支援方法があっていたから ・その時間、その児童は、集中する事ができたから。 ・子どもへの関わり方が上手くできた。 ・支援員がいることで、普段自分でできていることを頼ろうとする姿をみせるときがあるので。 ・もともと、特に必要を感じる子どもさんではないので ・困り事の再確認ができただけだった為 ・回数が少ないため、効果が分かりにくい。 ・訪問支援についても後日報告書が届くだけで、その子にどのような対応が良いのか、その時の保育者の対応は適切だったのかなど、直接話をする時間を設けることができないから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困りごとの解消に直結する場面は少ないですが、先生方と一緒に支援方法を検討し、困りごとが解消・軽減することができるよう努めます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	11	6	<ul style="list-style-type: none"> ・来ていただけると、対象児童の状況を詳しく知ることができ、今後の指導に生かすことができるから。 ・子どもや家庭の相談にのってくださり、学校とのパイプ役も果たしてくださっている。 ・療育施設での出来事を楽しそうに話してくれるから。 ・学校と事業所との連携を感じる ・いつも丁寧なご対応やお言葉掛けをありがとうございます。 ・しっかり向き合ってくださいから。 ・子どもの課題に対して、相互に対応できた。 ・日程が合わなくて、訪問支援が満足に組めないことがあるので。 ・療育で、どのように過ごし、どのような対応をしているのか、見たことがないので。 ・軽減されたり新たな取り組みを特に何か教えてもらった訳ではなかったため ・なくても困らないと感じた ・回数が少ないため、効果が分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日程調整が上手くいかず、ご迷惑をお掛けいたしました。訪問員の増等も検討し、スムーズに日程調整ができる体制を整えて参ります。 ・利用開始前には訪問支援の制度について丁寧に説明します。 ・意味のある訪問支援となるよう、研修や事例検討等を重ね支援力の向上を図ります。
<p>その他のご意見</p>				<p>ご意見を踏まえた対応</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・1年間ありがとうございました。 ・貴事業所が、どのようなスタンスで訪問されているのかははっきりしません。様子を見るだけなら、廊下から参観、サポートして下さるつもりなら、しっかり関わってほしい。 ・集団生活より丁寧な関わりで子どもたちの成長を見守っていただいているかと思えます。子どもの中には、療育ではわ 				<p>訪問先の先生方、大変ご多用のところ、たくさんのご意見を頂き誠にありがとうございました。訪問のスタンスについて、十分なご説明ができておらず、申し訳ありませんでした。利用開始前には間接支援・直接支援についてご説明させて頂き、方向性や支援内容を相互に確認したうえで、共通認識を持ち訪問支</p>	

りと自分の思いが通る自由さに喜びや楽しさを感じている子もいて、その点に疑問を感じることがあります。

・いつもありがとうございます。子どもも先生が訪問してくださり喜んでいきます。1学期と比べて3学期はすごく成長を感じることができました。色々なことを最後までやり遂げることができるようになっていきます

援を行うことができるよう努めます。また、療育についての貴重なご意見もありがとうございました。訪問支援のみならず、児童発達支援の方でも関係機関連携という形で、面談実施ができますので、疑問に感じられることへの擦り合わせをや、今後の対応を一緒に検討させて頂けますと幸いです。